

## 令和元年度牧草類優良品種選定試験 （イタリアンライグラス）

今雪 幹也・齊藤 武司

### Selection test for excellent variety of grasses (Italian ryegrass) (2019. 4~2020. 3)

Mikiya IMAYUKI, Takesi SAITO

#### 要 約

市販のイタリアンライグラス〔早生4品種、中生2品種〕を栽培し、それぞれの収量について調査した。

その結果、1番草2番草の合計乾物収量で、早生品種では「ワセユタカ」、中生品種では「ナガハヒカリ」が多収であった。

#### 緒 言

イタリアンライグラスについては数多くの品種（銘柄）の種子が一般に販売され、さらには毎年数種の新品種の種子も発売されており、自給飼料生産者は、その種子の選択に苦慮しているところである。そこで今回、「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」（改訂5版）に基づき栽培収穫し、それぞれの収量について調査した。

#### 方 法

- 供試品種名：（全6品種）  
早生：ライジン、クワトロ、ワセユタカ、はたあおば  
中生：さつきばれEX、ナガハヒカリ
- 播種日：2018年10月29日  
栽植様式：条播（畦間30cm）、播種量：150g/a（2倍体）、250g/a（4倍体）
- 1区面積および調査面積：1区6m<sup>2</sup>（1.5m×4m）、4反復乱塊法
- 施肥量

肥料名	施肥日 月/日	施用量 (kg/a)	要素量 (kg/a)				方法
			N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	
苦土石灰	10/22	4				0.60	全面散布
堆肥	10/15	300	0.26	2.70	4.00		全面散布
尿素	10/22	0.9	0.41				全面散布
基肥 合計			0.80	2.70	4.00	0.60	
NK2	4/18、26	4	0.64		0.64		側条施肥
追肥 合計			0.64		0.64		

## 結 果

### 1. 気象概要

気 温：調査期間である11月から5月まで全般的に平年より高かった。

降水量：12月から2月は平年より少なかったが、11月と3月以降平年より多かった。

日照時間：12月から4月は平年並みであったが、11月と5月は平年より少なかった。

（図1、図2、図3参照）

### 2. 生育概要

1) 調査期間全般的に平年より高い気温で推移したため、全体的に発育は良好であった。

2) 早生：乾物収量は1番草で「ワセユタカ」が、2番草で「はたあおば」が多収であった。1番草2番草の合計では「ワセユタカ」が多収であった。試験品種である「ライジン」「クワトロ」については、「ライジン」は1番草の乾物収量に優良品性がみられ、「クワトロ」は2番草に乾物収量に優良品性がみられた。また、「ワセユタカ」は倒伏に注意が必要である。（表1参照）

3) 中生：乾物収量は、1、2番草ともに「ナガハヒカリ」が多収であった。「さつきばれEX」の乾物収量は1番草、2番草ともに「ナガハヒカリ」よりかなり少なかった。（表1参照）

## 総 評

今回の結果では、イタリアンライグラスの早生を作付する場合、乾物収量は、1番草で「ワセユタカ」が、2番草で「はたあおば」が、1番草2番草の合計では「ワセユタカ」が多収であった。

中生を作付する場合、乾物収量は、1番草、2番草ともに「ナガハヒカリ」が多収であった。

これらの成績をもとに、それぞれの作付け形態や給与形態に合った品種の選定をし、自給飼料の増産に努めてもらいたい。

図1 月平均気温の推移

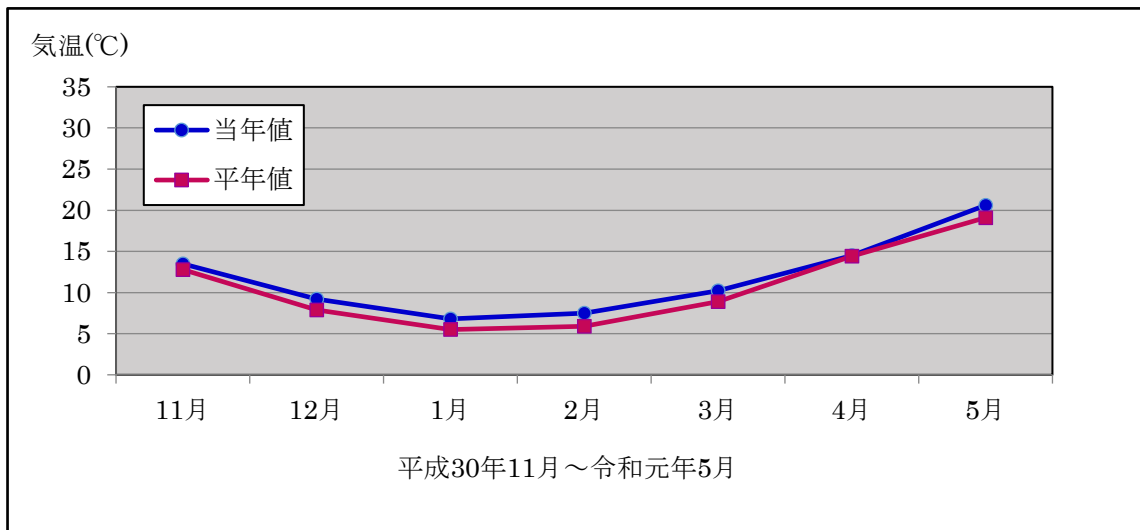


図2 月別降水量

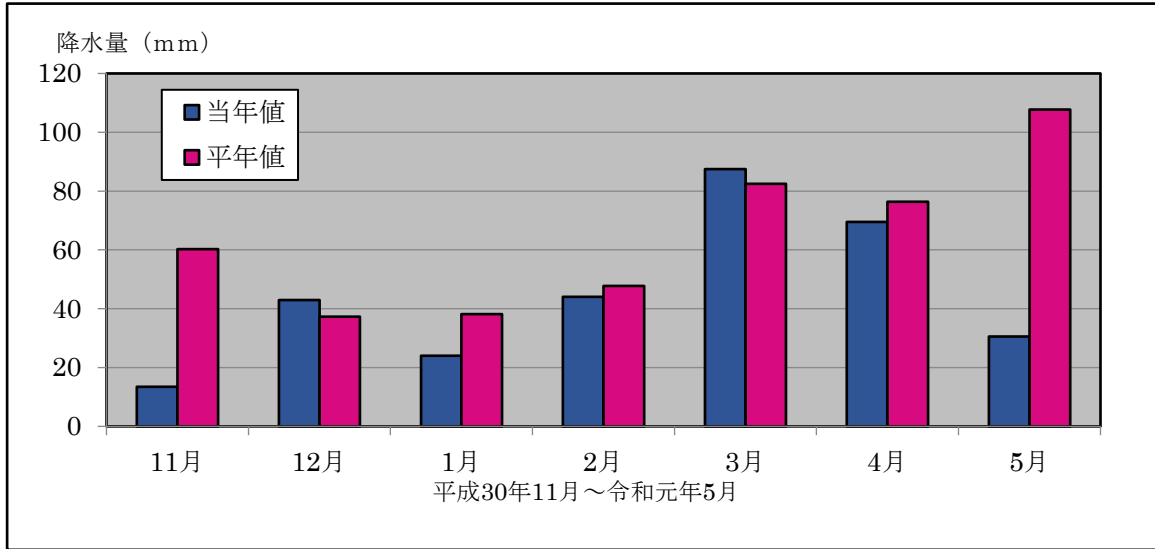
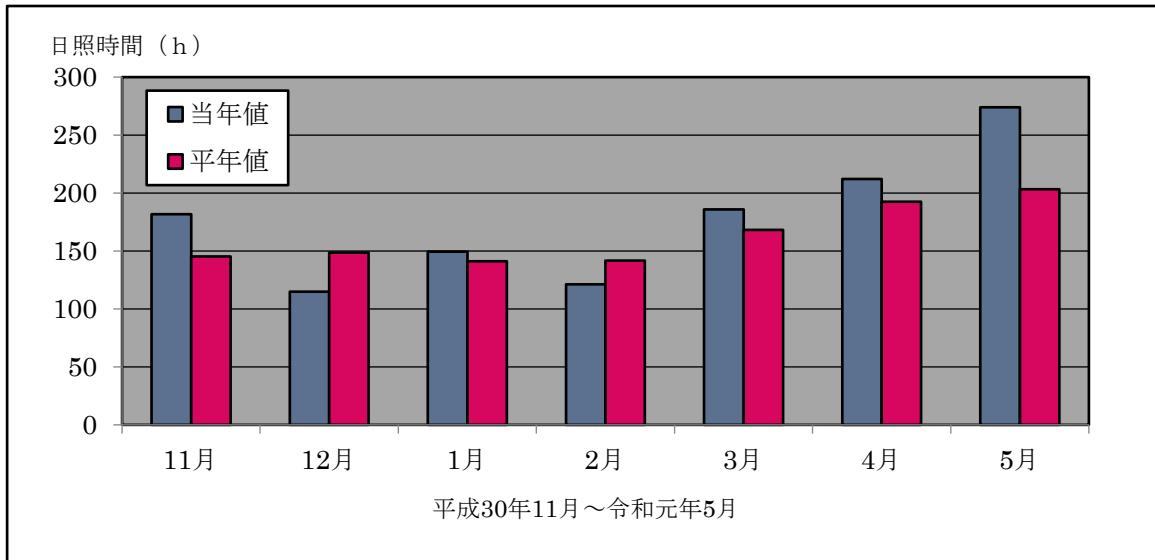


図3 月別日照時間



令和元年度牧草類優良品種選定試験（イタリアンライグラス）

表1：令和元年度牧草類優良品種選定試験結果（イタリアンライグラス）

調査項目	発芽		定着		出穂		収穫日		刈取時出穂		倒伏程度		草丈(cm)	
	良否	草勢	始	始	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草
品種・系統	9 極		1 番草		2 番草		1 番草		2 番草		1 番草		2 番草	
	9 極良	良			9 極多		9 極多		9 甚		9 甚			
ライジン	8.5	8.3	4/8	4/18	5/13	9.0	9.0	1.0	1.0	113.9	71.1			
クワトロ	9.0	9.0	4/6	4/18	5/13	9.0	9.0	1.0	1.0	118.5	76.7			
ワセユタカ	8.5	9.0	4/9	4/18	5/13	8.0	9.0	3.0	1.0	120.2	86.8			
はたあおば	8.3	8.5	4/9	4/18	5/13	8.0	9.0	1.0	1.0	114.4	74.9			
さつきばれ EX	8.3	8.3	4/19	4/26	5/21	9.0	9.0	1.0	1.0	123.9	67.6			
ナカハヒカリ	9.0	9.0	4/23	4/26	5/21	5.0	6.0	1.0	1.0	135.0	70.3			
CV (%)	3.6	4.0							44.7	0.0	5.9	8.4		
LSD(5%)	ns	ns							0.4	0.0	10.0	3.8		

調査項目	生草収量(kg/a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/a)		
	1 番草	2 番草	合計	1 番草	2 番草	平均	1 番草	2 番草	合計
品種・系統									
ライジン	501.3	155.8	657.1	20.0	17.2	18.6	100.4	26.9	127.3
クワトロ	514.6	179.2	693.8	19.2	17.3	18.2	98.6	30.9	129.5
ワセユタカ	580.4	169.4	749.8	23.0	17.9	20.4	133.3	30.3	163.6
はたあおば	485.8	184.2	670.0	20.3	17.5	18.9	98.6	32.2	130.8
さつきばれ EX	409.8	124.0	533.8	22.8	18.8	20.8	93.3	23.4	116.7
ナカハヒカリ	616.7	184.2	800.8	19.5	16.1	17.8	120.3	29.6	150.0
CV (%)	12.9	12.8	12.2	7.3	4.7	5.8	13.7	10.2	11.8
LSD(5%)	124.7	38.6	144.0	1.9	1.4	1.4	28.1	ns	ns